

公益社団法人 東京生薬協会

平成 27 年度

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

事業報告書

I 平成27年度 事業報告

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会 (学術委員会)

①春の薬草観察会

- ・開催日：平成27年5月24日（日）10：00～15：00
- ・場 所：長沼公園(八王子)
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、小根山 隆祥、南雲清二、鈴木幸子、高橋 宏之(敬称略)
- ・参加者：106名
- ・参加費：無料（保険料100円）

②秋の薬草観察会

- ・開催日：平成27年10月24日（土）13：00～16：30
- ・場 所：明治薬科大学資料館
- ・講 師：和田 浩志、清水虎雄、小根山 隆祥(敬称略)
- ・参加者：51名
- ・参加費：無料

2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：平成27年11月7日（土）10：00～15：00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：(公社)東京生薬協会学術副委員長 清水 虎雄
- ・演 題：「伝統薬と動物生薬」
- ・参加者：192名受講
- ・植物園見学参加者：85名
- ・入園者：1,123名(対前年比123%)
- ・記念品配布者数：400名(花の苗400鉢、お土産袋400袋)

3)第31回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：平成27年12月5日（土）13：00～18：00
- ・会 場：星薬科大学
- ・テーマ：桔梗（キキョウ）
- ・参加人数：336名
- ・参加費：3,000円、懇親会費：2,000円

4) 薬用植物・生薬に関する講座

(学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもってもらえるよう、開催した。

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月の日曜日（5 回シリーズ）
- ・参加費：1 回 2,500 円 ・参加者合計 322 名（対前年比 113%）

開催日	12:30~14:00	14:15~15:45	参加者数
【第1回】 10月25日 (日)	神農本草経からの薬剤 東京生薬協会 顧問 小根山 隆祥 先生	世界の伝統薬の養生を訪ねて 東京生薬協会 学術委員会 委員長 山内 盛 先生	55
【第2回】 11月29日 (日)	伝統薬（胃腸薬）で養生 東京都薬用植物園 元園長 清水 虎雄 先生	健康で過ごすには 1食について 2がん、心筋梗塞、脳卒中、肺炎 四大死因を乗り越えよう いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光 先生	60
【第3回】 1月31日 (日)	体を温める女性のための漢方 ヨシコクリニック院長 高木 嘉子 先生	健康に生きる心の養生法 青山杵淵クリニック院長 杵淵 彰 先生	70
【第4回】 2月28日 (日)	医食同源一健康法 千葉大学環境健康フィールド科学センターグラウンドフェロー 池上 文雄 先生	ストレス、消化器（胃腸）と漢方 東海大学医学部 准教授 新井 信 先生	73
【第5回】 3月27日 (日)	富士山の薬草 昭和大学薬学部非常勤講師 磯田 進先生	日常によく見られる病の漢方によるセルフケア 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	64

5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主 催：(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、日本一般用医薬品連合会（日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会）、(公社)東京都医薬品登録販売者協会
- ・後 援：厚生労働省、東京都、日本商工会議所、東京薬科大学
- ・協 賛：くすりの適正化協議会
- ・開催日：平成 27 年 9 月 11 日（金）～12 日（土）
- ・会 場：新宿西口地下広場イベント会場
- ・出展社：29社
- ・来場者：2 日間で約 3 万人
- ・内 容：模擬店舗、アンケート調査、クイズラリー、e 健康ショップ、検体測定室、

健康チェックコーナー、調剤体験コーナー、ハンドマッサージコーナー、
懐かしいくすり展、薬剤師の仕事展

6) 会報の発行 (7月、1月) (広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

7) 協会ホームページの更新 (広報委員会)

- ・ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」「薬用植物国内栽培事業」などを随時更新した。
- ・協会に関する基本情報についても更新した。
- ・第16局改正に伴い、既収載の「新常用和漢薬集」の内容を見直し、局方に準じた内容にした。(106生薬)
- ・ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザ数	ページビュー数	新規訪問割合
2014/04/01-2014/09/30	27,750	17,334	99,769	58.80%
2014/10/01-2015/03/31	25,931	16,773	73,405	60.70%
2014(平成26)年度合計	53,681	34,107	173,174	
2015/04/01-2015/09/30	41,752	27,406	120,206	61.98%
2015/10/01-2016/03/31	33,259	22,415	90,262	62.34%
2015(平成27)年度合計	75,011	49,821	210,468	
下期 前年同期比	128.3%	133.6%	123.0%	
年間 対前年比	139.7%	146.1%	121.5%	

訪問数・ユーザ数・ページビュー(PV)いずれの指標についても、引続き対前年比で120～140%台の増加傾向にあり、当協会の活動に関する関心の高さを示している。

内容別では、新常用和漢薬集・栽培事業等に年間を通じて安定したアクセスがあり、さらに上半期には開花情報へのアクセスが伸びることにより、全体のアクセス数を押し上げるかたちとなっている。

上半期については10万PVを達成。下半期も9万を超えており、来期には上下半期とも10万PV超えが期待できる。

8) ふれあいガーデン事業（参加者合計：457名 対前年比 107%）（事業管理委員会）

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- 平成27年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、北部緑地（株）の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業（下記のイベント等）を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	4日(土)	春の薬膳 旬の食材～春	山上 勉	54
	11日(土)	ロックガーデンの四季	池村 国弘	29
	18日(土)	ハーブの押し花で葉書づくり	小泉美智子	28
5月	23日(土)	グリーン・リース教室	田淵清美	23
6月	6日(土)	夏の食養生 旬の食材で健康	山上 勉	39
	13日(土)	癒しのアロマセラピー	鈴木 悦子	28
7月	11日(土)	ハーブと夏の暮らし	小泉美智子	21
9月	26日(土)	やさしい草木染	山浩美	35
11月	14日(土)	晩秋の薬膳	山上 勉	43
12月	12日(土)	手湯の温もり	小根山隆祥	30
3月	5日(土)	落語の世界のくすりと薬草	一升亭 吞介	92
	26日(土)	スプリング・エフェメラル	吉澤政夫	35

9) 新常用和漢薬集の改訂

（学術委員会）

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方（16局）と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。

11品目追加し、公開品目数は、106生薬となった。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

【東京都薬用植物園受託事業】

（事業管理委員会）

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 809件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：1,203件

園内管理：土、日、祝日対応：117日

年間来園者数：125,703人（対前年比98%）

- (2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ 1,512 人/年
- (3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：
延べ 479 人/年
- (4) 普及啓発事業（詳細は各項）：58 日間実施、参加者数：2,265 名
協会の応援人数延べ：90 人
- (5) 印刷物等作成
- | | |
|----------------------|---------|
| 植物園案内パンフレット | 1,000 部 |
| 写真で見る絶滅危惧種植物 | 1,000 部 |
| 「四季の薬草」パンフレット | 1,000 部 |
| ケシ鑑別マニュアル | 500 部 |
| 種子交換リスト | 0 部 |
| 講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類 | 2,605 部 |
| 野外展示用ラベル及び立て札 | 109 枚 |
| ケシ講座他 | 3,000 枚 |

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

- 保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等
栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等
清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等
警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間 8 回実施した。合計参加者：913 名（対前年比 109%）

来園者数：4,140 名（対前年比 98%）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数	来園者数
1 回	4月23日(木)	日々の暮らしと生薬	笠原 良二 (株ツムラ特販課課長)	121	808
2 回	5月21日(木)	江戸の伝統野菜と健康	山内 盛 (東京生薬協会学術委員)	123	1,054
3 回	6月26日(金)	漢方とアンチエイジング	新井 信 (東海大学医学部准教授)	105	380
4 回	7月8日(水)	徳川吉宗と薬草	南雲 清二 (星薬科大学名誉教授)	169	467
5 回	8月27日(木)	熱中症、夏の漢方薬	大野修嗣 (大野クリニック院長)	114	435
6 回	9月25日(金)	昆虫から見た植物の世界	佐々木 正巳 (玉川大学名誉教授)	93	206
7 回	10月22日(木)	身近な薬の原料植物	磯田 進 (昭和大学薬学部非常勤講師)	107	553
8 回	11月26日(木)	ブルガリアのバラと野草	指田 豊 (東京薬科大学名誉教授)	81	237

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成 27 年 5 月 24 日(日) 長沼公園(八王子) 106 名

② 秋の植物観察会

平成 27 年 10 月 24 日(土) 明治薬科大学資料館 51 名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：839 名 対前年比 77%）

平成 27 年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	4日(土)	春の薬膳 旬の食材～春	山上 勉		○	54
	11日(土)	ロックガーデンの四季	池村 国弘		○	29
	18日(土)	ハーブの押し花で葉書づくり	小泉美智子		○	28
5月	1日(金)～22日(金)	ケシのパネル展	展示	○		—
	9日(土)・10日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		135
	23日(土)	グリーン・リース教室	田淵清美		○	23
6月	6日(土)	夏の食養生 旬の食材で健康	山上 勉		○	39
	13日(土)	癒しのアロマセラピー	鈴木悦子		○	28
7月	11日(土)	ハーブと夏の暮らし	小泉美智子		○	21
	26日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		76
8月	8日(土)	夏休み親子植物教室	中山麗子	○		44
9月	26日(土)	やさしい草木染	山浩美		○	35
11月	14日(土)	晩秋の薬膳	山上 勉		○	43
12月	12日(土)	冬の温もり・手湯	小根山隆祥		○	30
	16日(水)	木の実・草の実リース作り教室	中山麗子	○		39
2月	12日(金)	健康講座（薬事協との共催）	東京薬事協会共催	○		88
3月	5日(土)	落語の世界のくすりと薬草	一升亭 吞介		○	92
	26日(土)	スプリング・エフェメラル 春の目覚め	吉澤政夫		○	35

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	18回	1,078名
② 薬務、保健所等研修	10回	86名
③ 警察、薬防協等研修	17回	363名
④ 学生研修	6回	72名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	45名
⑥ 一般(団体)指導	5回	160名

3) 薬用植物の栽培

- ①薬事監視業務の一環として、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。
- ②ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ①種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ②さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 開催日：平成27年5月～10月(6回)

場 所：福井県高浜町

内 容：『生薬解説・栽培方法、GACP』

講 師：小谷 宗司、磯田 進

参加者：30名

- ② 開催日：平成27年5月～10月(6回)

場 所：岐阜県岐阜市

内 容：『生薬解説・栽培方法、GACP』

講 師：高橋宏之、川又勝行、飯田 修、小谷 宗司

参加者：20名

- ③ 開催日：平成27年6月4日(木)

場 所：新潟県新潟市

内 容：『生薬解説(トウキ)』

講 師：岡田 稔

参加者：10名

- ④ 開催日：平成27年7月3日(金)

場 所：新潟県新発田市

内 容：『生薬解説(トウキ、シャクヤク、サイコ)』

講 師：岡田 稔

参加者：30名

- ⑤ 開催日：平成 27 年 7 月 30 日（木）
 場 所：大分県杵築市
 内 容：『なぜ今、国産生薬の栽培か』
 講 師：末次大作
 参加者：48 名
- ⑥ 開催日：平成 27 年 10 月～3 月（6 回）
 場 所：大分県杵築市
 内 容：『生薬解説・栽培方法』
 講 師：山上 勉、飯田 修
 参加者：15 名
- ⑦ 開催日：平成 28 年 3 月 17 日（木）
 場 所：秋田県美郷町
 内 容：『生薬解説・栽培方法（キキョウ）』
 講 師：飯田 修
 参加者：15 名

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案審議委員会への参加

(学術委員会)

- ①・生薬等(A)委員会：5月、9月、11月、1月、3月に開催。
 山路氏、菊地氏(ツムラ)が参加。
 漢方処方原案作成WG：5月、8月、10月、1月、3月に開催。
 菊地氏、神本氏(ツムラ)、山下氏(常磐植物化学研究所)が参加
- ・生薬等(B)委員会：4月、7月、10月、12月、2月に開催。武田氏(ツムラ)が参加。
- ・総合小委員会：第 17 改正日本薬局方原案作成要領（一部改正）を実施。
 菊地氏(ツムラ)が担当。
 委員会の審議内容・結果が学術委員会で報告された。
- ②第十七改正日本薬局方：2015年8月17日～9月15日までパブコメが行われ、2016年3月7日に告示された(以下参照)。
- i) 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000066530.html>
- ii) 第十七改正日本薬局方の制定等について(薬生発 0307 第 3 号)
<http://www.ourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T160309I0050.pdf>
- [生薬等 各条他]
- ・収載総計 324 品目(新規 10 品目, 改正 121 品目, 化学薬品等から移動 26 品目)
- ・[生薬総則(改正)], [一般試験法(改正)], [参考情報(新規)(改正)]
 (上記 i), ii) 参照)
- 収載協力加盟会社：イスクラ産業(株), (株)ウチダ和漢薬, 救心製薬(株),

ジェーピーエス製薬(株), 大正製薬(株), 田村薬品工業(株),
(株)ツムラ, (株)常磐植物化学研究所, (株)栃本天海堂,
三国(株), 養命酒製造(株), (株)龍角散 他

③日本薬局方外生薬規格 2015

- ・局外生規 WG (国立衛研) : 4 月 (菊地氏、神本氏、山路氏)
- ・厚労省 局外生規検討会 (PMDA) : 6 月 10 日 (菊地氏、山路氏 (東生協) が出席)

パブコメ : 2015 年 10 月 15 日 ~ 11 月 14 日

厚労省 通知 : 2015 年 12 月 25 日

(日薬生審査発 1225 第 1 号厚生労働省 通知)

・新規収載

東京生薬協会担当 : ショウバク, チャヨウ収載原案

その他 (新規収載) : ガイハク, サンシチニンジン, サンシチニンジン末,
シヨクショウ, シンコウ末, センナジツ末, ソウズク, チクヨウ,
チクレキ, ランオウ末, リヒ, レンギョウ末

(局外規からの移行品目) : アカメガシワエキス, メリロート, メリロートエキス,
ウラジロガシ, ウラジロガシエキス

・既収載品の見直し等

東京生薬協会担当 : センレンシ, ワニクジュヨウの確認成分の同定
チクジョの基原・性状の見直し

④日本薬局方 技術情報 2016 (JPTI2016) : 2016 年度上期に発刊予定

日局 16 に関わる JPTI2010、JPTI2011 等に記載される解説の修正を含め、
日局 17 で改正又は新規収載された一般試験法、各条品目及び参考情報等
について重点的に解説を実施。菊地氏、神本氏、山路氏 (ツムラ) が担当部分
を執筆。

2) 生薬栽培地の視察・情報収集活動の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

①秋田県美郷町にて薬用植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。

- ・開催日 : 平成 27 年 11 月 2 日 (月) ~ 3 日 (火)
- ・見学地 : 記念植樹 (ホオノキ植樹)、カンゾウ・キキョウの掘り取り、エイジツの
圃場見学
- ・講演 : 『生薬解説 (キキョウ)』
- ・講師 : 飯田 修
- ・交流会 : 薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者 : 11 人

3) 薬用植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ホオノキ
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、カワラヨモギ、アミガサユリ、オケラ、ハマボウフウ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、ゲンノショウコ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ
- ⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、センキュウ、シャクヤク、カラスビシャク、シャクヤク、オケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、キキョウ、カンゾウ、カノコソウ、トコン、ケイガイ、イノコズチ、ハナスゲ、ムラサキ、キバナオウギ、イカリソウ、ケイリンサイシン、メハジキ、エゾウコギ

4) 薬用植物栽培連携協定締結式

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物栽培連携協定締結式
 - ・開催日：平成27年6月11日(木)
 - ・調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結（継続）
 - ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
 - ・参加者：協会側　：14人(藤井会長他)
 基盤研　　：1人(川原センター長)
 八峰町側：11人(加藤町長他)

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

① 東京都薬用植物園『QRコード』貼付作業

植物の解説ラベル約700種にQRコード貼付。

- ・開催日：平成27年4月25日(金)
- ・参加者：9名

② ケシの見学・研修

東京都薬用植物園ケシ柵内での見学、研修室での座学研修

- ・開催日：平成27年5月8日(金)
- ・参加者：14名

③ 大正製薬株式会社 大宮工場

- ・開催日：平成27年11月25日(水)
- ・内 容：製造工程等を見学
- ・参加者：18名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施 (事務局)

- ・開催日：平成28年2月24日(水)
- ・会 場：神田明神・明神会館
- ・出席者：94名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 (総務委員会)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：平成27年10月16日(金)
- ・会 場：昭和薬貿ビル2F直会会場
- ・2階直会会場に出展した。(3社、8人) (株)ツムラ、イワキ(株)、協栄技研(株)
- ・出 展：薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。
- ・参加者：2,563名

3) MCMIA(現代化中医薬国際協会)との交流 (事務局)

- ・平成27年8月に香港で開催された展示会ICMCMで東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM展示会場、衛生局訪問

II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	2回	6月	3月				
理事会	3回	5月	11月	3月			
会計、業務監査	1回	4月					
総務委員会	4回	4月	8月	10月	2月		
総務WG	12回	4月~	3月				
学術委員会	6回	4月	6月	9月	11月	2月	3月
広報委員会	4回	6月	8月	12月	2月		
事業管理委員会	4回	5月	9月	12月	2月		
事業管理委員会WG	5回	4月	6月	7月	10月	1月	
薬用植物国内栽培事業委員会	6回	4月	5月	7月	9月	11月	2月

III. 会費、会員数及び平成27年度入退会

1. 会費収入 : 会員 139 名 (¥9,398,000)
2. 期首会員数 : 119 名
3. 期末会員数 : 139 名
4. 入 会 (27 件 : 法人正会員 4 件、個人正会員 8 件、サポーター15 件)
法人正会員 : 中島工業株式会社、株式会社オービーエス、株式会社メルコテクノ横浜
ユニバーサル・システムズ株式会社
個人正会員 : 星 幸夫、阿久津 梅夫、白瀧 義明、松崎 桂一、京條 秀征、
枝 利彰、金井 藤雄、笠原 広祐、
サポーター : 15 名
5. 退 会 (7 件 : 法人正会員 3 件、個人正会員 1 件、サポーター3 件)
法人正会員 : 三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社、株式会社協和、
株式会社金井藤吉商店
個人正会員 : 内田 肇
サポーター : 3 名

以 上